

サンホセ日本人学校オンライン合同学習実施報告書

提携校：アグアスカリエンテス日本人学校

実践月日 10 月 4 日

報告者： 宮本豪

対象学年	教科	単元	合同学習形態
小 4	社会	地震からくらしをまもる	直接

目的：

実際に地震が起きたときを想定し、立場や視点を変えて多様な考え方に触れることで、地震の対応の難しさや、普段から心も準備しておかなければならないということに気付かせる

状況

- ・一人学級なので同級生の、自分とは異なる考えに触れることがほばない
- ・自分の考えを深めることが苦手で、考える視野も狭い児童実態である
- ・考えを発表したり伝えたりするのが苦手



手立て

- ①AC校と地震シミュレーションゲームを行う
- ②立場（住民・避難所の職員・親・自分など）や視点（各判断のメリット・デメリットなど）を変えて意見交換をする
- ③グラレコカードを使って、話し合いをしながら自分の気持ちを相手に伝える



結果

- ・グラレコカードで普段気持ちを表現できない児童も表現することができた
- ・様々な立場と視点からの意見が積極的に交わされ、「なるほど」と何度も反応していた
- ・判断に頭を悩ませる姿が多く、地震対応の難しさと大切さを実感できた

「主体的・対話的で深い学び」の実現状況

※以下の項目を達成するための工夫ができたか

主体的な学び		対話的な学び		深い学び	
興味・関心を高める	○	子ども同士の対話の場の充実	◎	教科の見方・考え方を生	○
粘り強く取り組ませる		これまでの知識・理解だけでは説明できない状況づくり	○	かす	
見通しをもたせる		授業における「問い」の焦点化		新たな問いや課題や考えを創造させる	○
振り返りをさせる	○	協力して解決する場面設定		考えを伝え合うことを通	
		外部人材、先哲との対話設定		して概念を形成させる	

AC対面とSJ対面でつなぐ

地震のシミュレーションゲーム

立場を選んで話し合おう！

ひなん所の職員

避難所になっている
体育館には300人がいま
す。200人分のおべん
とうがとどきました。
このおべんとうをす
ぐに配りますか。

はい…配る
いいえ…配らない

ひなん所の職員

300人分だけど…
おべんとうを200人分 配る!!

- のみん100人分のおべんとうを
持っている人とさっせやう
- きっと分け合ってくれる。
- 「げんか!!」って人もいる!!

ICT機器レイアウト（直接のみ）

